



## 猫不妊・去勢手術補助を利用される方へのお願い



この制度は、猫の不妊・去勢手術が普及し、やむを得ず致死処分となる猫を減らすこと、猫の適正な飼養がすすむことを目的としています。

猫を飼う、または世話をされるうえで、不妊・去勢手術以外に、お願いしたいことがあります。ご理解いただきますよう、お願いいたします。

### ○飼い猫の手術を行った方へ

#### 1. 終生飼養

最後まで、責任を持って飼いましょう。

万が一、飼えなくなった場合は新しい飼い主をご自身で探しましょう。

#### 2. 屋内飼養

猫は十分なエサと、安心して過ごせる空間があれば外に出なくても幸せに暮らすことができます。

むしろ、外に出ることで、交通事故や感染症の恐れに加え、他人の敷地への侵入や庭での糞尿など、地域社会でのトラブルの原因となっている可能性もあります。

あなたの大切な猫のために、室内で飼うことを考えてみてください。

### ○飼い主のいない猫の手術を行った方へ

#### 1. エサの管理

エサを放置する「置きエサ」は、カラスやハエ、ゴキブリなどの発生や悪臭の原因となります。エサを与える場所と時間を決めて、猫がエサを食べたら片づけましょう。

#### 2. トイレの管理

猫の糞尿に関する苦情が非常に多く寄せられています。猫用のトイレを設置し、定期的に排泄物を片づけましょう。

#### 3. 周囲への配慮

猫が苦手な方やアレルギーの方、庭で糞をされて困っている方もいます。猫の世話や不妊・去勢手術を実施することにより、猫の問題を軽減しようとしていることを説明し、地域の方の理解を得るようにしましょう。

#### 4. 耳先の一部カット

不妊・去勢手術を受けさせるときは、手術済の目印として、耳先の一部カットも実施しましょう。どの猫が手術を受けたか判りやすくなり、他の人が誤ってもう一度手術を受けさせる事故も防げます。